

道徳の時間で活用する ～思いやり、感謝～

上関町立上関中学校 古六 尚子

1 本場面におけるポイント

- ねらいとする道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方について深める。
- 話合いで主体的な学びをする。
- 自分自身のものの見方、考え方、感じ方などを確かめたり、まとめたりすることで、自分を振り返る。

2 授業の実際

1 主題名 感謝の心

- 2 ねらい 多くの人々の支えにより、私たちは生活しているということに気づき、感謝の心を持ち、それに応えていこうとする道徳的心情を培う。

3 展開

- (1) 導入 ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。

教師：人に何かしてもらってありがたいと思ったことはあるか。そのとき相手に対してどんなことを思ったか。

生徒A：落とした物を拾ってもらったとき。優しいなと思った。

生徒B：家の人に欲しい物を買ってもらったとき。ありがたいなと思った。

生徒C：いつも笑顔で友達が悩みを聴いてくれるとき。今度は、私が悩みを聴いてあげようと思った。

□ 指導上の留意点等

日々の生活の中で「ありがたいな。」と感じたことをあげさせ、その時、相手にどんなことを感じたかを問いながら、感謝の気持ちというキーワードに触れ、価値への方向付けを行うようにする。

感謝の気持ちを示す対象が、友達だけではないことに気付けるようにする。回答が出ない場合は、職場体験の時の話など、生徒の身近な体験を思い出させるようにする。

- (2) 展開 「帰郷」（私たちの道徳）P.88～93を読み、変化していく主人公の気持ちを考える。

教師：東京へ引き返す電車の中で、主人公は何を考えていただろう。

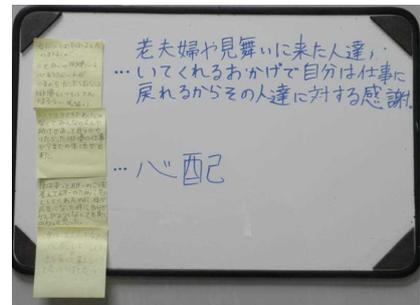
生徒A：たくさんの人たちに支えてもらっているのだなあ。

生徒B：母親のことが心配。このままにしていけるのだろうか。

生徒C：母は、ずっと研一のことを考えて、いろいろしてくれたのに、母が病気になった時に自分が看病しなくてもよいのかと思った。

生徒D：みんなの支えや助けがあって自分がやりたかった俳優の仕事ができたのだ。俳優で頑張ることで、恩返しをしよう。

班 1：母親のことは心配であるが、老夫婦や見舞いに来た人たちがいてくれるおかげで自分は仕事に戻れるから、その人たちに感謝している。



□ 指導上の留意点等

主人公は不安な思いで帰郷したが、東京に戻るときには大きく心情が変化している。帰りの電車の中で優しさにつつまれていたときの思いに焦点をあてて、ねらいに迫るようにする。

中心発問につながる基本発問として、「①東京を出て病院に着くまで私はどんなことを考えていたのだろう。」「②チャーハンを押しいただくように受け取った私は、どんな思いがこみ上げてきただろう。」を用意し、主人公の母親への感謝にとどまることなく、母親を支えている老夫婦や、町の人々の優しさや町のぬくもりを感じて東京に帰る主人公の心の変化を感じ取らせるようにする。

最初に、個人で、東京に引き返す電車の中で主人公が考えていたことを付箋に記入した後、友達のような考え方にふれたり、自分の考え方を明確にしたりしながら、ねらいとする道徳的価値に気付いていけるように、班ごとに話し合い活動を行う。



(3) 終末 「私たちの道徳」P.85に記入し、自分自身を振り返り、考えをまとめる。

教師：「ありがとう」の思いを込めて、自分の思いを書いてみよう。
 生徒A：たくさんの方が自分を支えてくれている。支えてくれてありがとう。
 生徒B：いつも相談にのってくれる友達にありがとう。今度は、私が悩みを聴いてあげる
 生徒C：よ。
 育ててくれた親にありがとう。あたりまえだと思っていたが、これからは感謝の気持ちを忘れずにいたい。

□ 指導上の留意点等

日常生活の中での家族や地域の人への感謝の気持ちを記入させる。自分を振り返りながら考えることで、学んだ道徳的価値について確かめるようにする。

最後に、「私たちの道徳」P.82「人々の善意や支えに応えたい」を個人で読み、今後の生活の中で感謝の気持ちを素直に表現していこうとする気持ちを深められるようにする。



3 実践を振り返って

毎年、地域のミカン農家の方に、「ミカン収穫農業体験」をさせていただいている。ミカンの収穫をさせていただくだけでなく、農林事務所の方に収穫まで農家の方がどのように手塩にかけて育てられているかなどのお話を聞いたり、摘果作業にも参加させていただいたりした。



～生徒の感想から（一部抜粋）～

- 私たちが、楽しく学べ収穫できたのも、これまでの作業をしてくださったミカン農家の方のおかげなので、感謝したいです。給食でも出していただけますが、家に持って帰り、味わっていただきたいと思います。
- 大切に育ててきたミカンを一日だけ収穫させていただけるので、〇〇さんへの感謝の気持ちや、自分たちが収穫することの意味を考えながら、収穫したいと思いました。
- 米、野菜、果物は、当たり前のように食べているけど、農業をされている方々のおかげで、僕たちはおいしい物を食べることができているんだと思いました。そして、この摘果や収穫の作業を一人でされているときいて驚きました。頑張って作業をしたいと思います。

自分を取り巻く家族や地域の人々に対し、感謝の気持ちを抱き、言葉や態度で伝えることができたように思う。これからも、自分がたくさんの人に支えられ、その温かさの中で生きていることに気付き、その気持ちに応えていける生徒を育てていけたらと思う。